

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床化学Ⅰ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	小丸 圭一
授 業 概 要					
分析用機器の進歩により、生化学的検査のほとんどが自動化されており反応を直接目でみることができない。体液中の特定の成分だけを特異的に測定する分析化学の基本原則を理解し、正常値の意義、検体の取扱い方、精度管理、測定結果の臨床的意義について修得する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> 臨床化学は単なる分析化学ではなく、臨床と密接に結びついていることを認識する。 精度管理に関する考え方や計算、作図ができる。 代表的な血清成分の正常値を覚え正常値と疾患との関係が理解できる。 各測定法の原理と特徴及び影響物質について説明できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	臨床化学分析の基礎知識：測定値の管理、基準範囲、検体の取扱い				小丸 圭一
2	臨床化学的分析法：分光光度法、クロマトグラフィ				
3	臨床化学的分析法：酵素的分析、免疫学的測定法				
4	放射性同位元素検査：放射能と放射線、放射線の測定				
5	放射性同位元素検査：放射性医薬品とその基本的性質、検体・体外検査法				
6	無機質：無機質の概要、ナトリウム、カリウム、クロール				
7	無機質：重炭酸イオンと炭酸ガス分圧				
8	無機質：酸塩基平衡				
9	無機質：カルシウム、無機リン、マグネシウム				
10	無機質：血清鉄、銅、その他の無機質				
11	糖 質：血糖の代謝と病気、血糖測定法				
12	糖 質：尿糖、糖尿病関連物質、その他の糖代謝と疾患				
13	蛋白質：蛋白質の代謝と病気、総蛋白、アルブミン並びにA/G比				
14	蛋白質：セ・ア膜電気泳動法、蛋白質分画				
15	蛋白質：膠質反応、糖蛋白及び急性相反応物質、免疫グロブリン、その他の蛋白質				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 教科書及び配付資料を用いて講義する。 事前に予習をしておくこと。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 項目毎に数回の小テストを実施する。 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 再試験も同様であるが、小テストは実施しない。 					
先 修 科 目					
生物学、化学、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、検査機器学、検査管理学、臨床基礎検査学					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 臨床化学検査学 浦山 修 他 医歯薬出版					